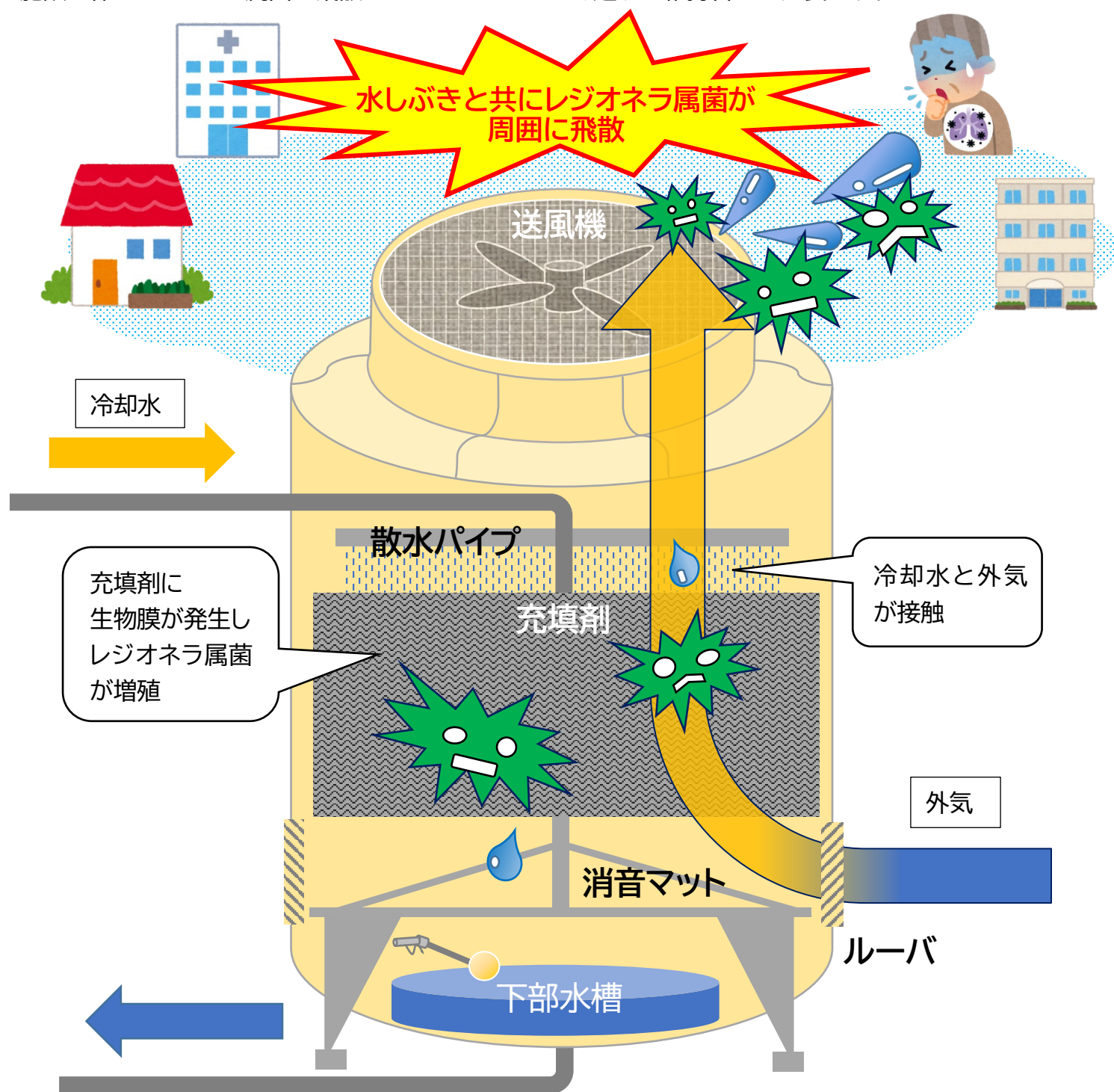


冷却塔の適切な維持管理について

冷却塔とは、冷却水と外気を接触させて冷却水の温度を低下させる装置のことで、空調機と組み合わせて建物内で発生した熱を冷却させる役割を果たしています。冷却水は外部からレジオネラ属菌による汚染を受けやすく、適切な維持管理を行わないとレジオネラ属菌が増殖しやすい環境となっています。

レジオネラ属菌が増殖すると、水しぶきと共に施設外部へ飛散するおそれがあります。また、外部だけでなく、冷却塔の周辺にある空調機(外気取入口)に水しぶきが混入することで、空調機から供給される空気を通して施設全体にレジオネラ属菌が飛散してしまうこともあり、適切な維持管理が必要です。



国内でも冷却塔を原因とするレジオネラ症の
集団感染事例が発生しています

管理のポイント

○使用開始前後の冷却水管の化学的洗浄(次亜塩素酸ナトリウム、過酸化水素等)

○冷却水の殺菌剤処理
○スケール防止剤等の薬剤を用いた水処理
○冷却水の強制ブロー

○冷却塔本体の点検・清掃(月1回)

○冷却塔内部の点検・ブラシ等による物理的清掃(月1回)
○高圧洗浄機等による充填剤の清掃(月1回)
○下部水槽内の汚れの排出(月1回)

猛暑注意!

夏季は冷却水の濃縮を防ぐため、冷却水の伝導率を確認し、ブローの頻度を上げるなどの対策を行きましょう

○冷却水のレジオネラ属菌検査

※検査時期は稼働時期に応じて1年に2回以上実施

- (1)夏季のみ 1回目:運転開始から2~3週間後
2回目:7月~8月の間
3回目:菌数の変動を把握できる適切な時期
- (2)通年 菌数の変動を把握できる適切な時期
(うち1回は7月~8月の間に実施)

レジオネラ属菌を検出した場合

検査結果 (CFU/100ml)	対策
10 ² 未満	現状の維持管理体制を継続する
10 ² 以上	直ちに次亜塩素酸塩またはその他有効な殺菌剤を用いて冷却水及び冷却水管を殺菌し、冷却水を換水する 清掃、薬剤投入等の措置後、迅速法(PCR法又はLAMP法)又は培養法によって再度水質検査を実施し、陰性又は不検出(10CFU/100ml未満)であることを確認する 検査結果が陽性又は検出である場合は、上記の措置を再度実施する

レジオネラ属菌の指針値超過時には、所在区の区福祉保健センター生活衛生課へ連絡してください。

福祉保健センター	電話番号	福祉保健センター	電話番号	福祉保健センター	電話番号
鶴見区	045-510-1845	保土ケ谷区	045-334-6363	青葉区	045-978-2465
神奈川区	045-411-7143	旭区	045-954-6168	都筑区	045-948-2358
西区	045-320-8444	磯子区	045-750-2452	戸塚区	045-866-8476
中区	045-224-8339	金沢区	045-788-7873	栄区	045-894-6967
南区	045-341-1192	港北区	045-540-2373	泉区	045-800-2452
港南区	045-847-8445	緑区	045-930-2368	瀬谷区	045-367-5752

令和6年6月作成

作成者 横浜市医療局生活衛生課(横浜市中区本町6-50-10)

電話番号 045-671-2456

FAX 045-641-6074

E-mail ir-seikatsusei@city.yokohama.lg.jp

関連HP <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/seikatsu/kaiteki/legionella/legishisetsu.html>

